

平成29年度 事業報告

1. 身近な地域でのつながり・支えあい活動の充実

個別相談や地域からの困りごと相談を受け、地区社協をはじめとする地域のみなさんと共に解決に向けて取り組みました。中でも子どもの支援についての関心が高く、子どもの居場所づくりなどを支援している団体の交流会を開催しました。

子どもの見守り応援団体交流会 11月7日(火) 10団体13名参加

●旭区の子どもの取り巻く現状について／団体紹介／意見交換(子どもの居場所で大変なこと・気になる子どもの参加について等)

2. あんしんセンターの運営

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象に、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、下記のサービスを実施しました。

相談件数:95件

福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス

契約数 88件(活動件数 5,246件)

預金通帳など財産関係書類等預かりサービス 契約数 13件

権利擁護事業・成年後見制度の講演会の実施 11回

3. 移動情報センターあさひの運営

障害児・者にとって生活上大きな課題となる、通学や通所などの「移動」について、当事者やその家族からの相談を受けガイドヘルパーやガイドボランティアなどの支援につなげました。

相談件数:217件

ガイドボランティア 登録者78名／支援対象者45名

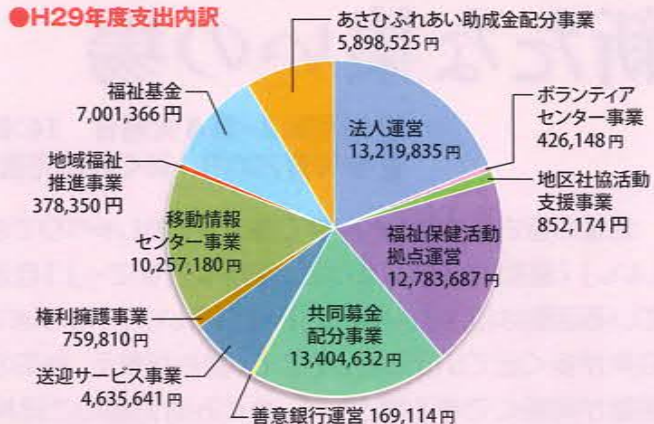
他にもさまざまな事業を実施しています。事業報告・計画の詳細は旭区社協ホームページにて掲載しております。また旭区社協窓口では冊子も配布しております。

旭区社協

旭区社協の昨年度決算と今年度予算

	H29年度 決算報告	H30年度 当初予算
当期収入合計	70,537,475 円	74,148,000 円
当期支出合計	69,786,462 円	84,543,000 円
前期末支払資金残高	24,007,141 円	36,361,000 円
当期末支払資金残高	24,758,154 円	25,966,000 円

●H29年度支出内訳



善意銀行に寄付いただいた方々

次の皆さまから善意銀行へご寄付いただきました。ありがとうございました。

寄付者一覧(平成30年1月1日～4月30日)《順不同・敬称略》

(金品寄付)

医療法人社団恵生会 上白根病院／公益社団法人 保土ヶ谷法人会
平成29年度今宿幼稚園もぐみ一同／旭区女性団体連絡協議会／匿名5名

(物品寄付)

特別養護老人ホーム かわしまホーム／東郷 節子／廣瀬 博行／美寿々会
神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部／横浜鶴ヶ峰病院／上の原保育園
あさひ茶花道協会／旭北地区社会福祉協議会／二俣川住宅自治会
特別養護老人ホーム サニーヒル横浜／明るい社会づくり運動 旭区協議会
内田 勇／林 正男／目黒 サキ／米倉 洋子／宮地 美奈子
(株)大京アステージライオンズクラブ鶴ヶ峰／おべんとうひより
平本 成子／サロンあさひ／林 洋子／針生 美津枝／櫻井 美代子
県立希望ヶ丘高校保健福祉委員会／都岡町内会環境部

平成29年度 共同募金報告

平成29年度共同募金寄付金総額

20,476,250円

赤い羽根募金………14,286,589円

年末たすけあい募金……6,189,661円

皆様から多くの募金をいただきました。温かいご支援どうもありがとうございました。

平成29年度に集まった募金は主に平成30年度に使われます。

赤い羽根募金のうち4,687,174円、年末たすけあい募金6,189,661円全額が旭区社会福祉協議会の事業費として使われます。今年も皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。(募金は任意です。)

旭区社会福祉協議会では、共同募金配分金を次のような事業で活用しています。

- 地区社会福祉協議会活動助成金(19地区) 530万円の一部
- 区内活動団体への助成金 700万円(あさひふれあい助成金 等)
- あさひいき宣言(旭区社協だより)の発行 100万円
- きらっとあさひ福祉大会 40万円
- 災害見舞金の交付 20万円 など

発行 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35

TEL:045-392-1123 FAX:045-392-0222

http://www.palietasahi.jp/ 旭区社協

●アクセス
相鉄線「鶴ヶ峰駅」
北口より徒歩8分



編集後記

●移動販売車を待つ人、品物を玄関まで運んでくれる人、商品の希望に耳を傾ける販売者、地域で暮らし続けるための「買いたい物ができる」支援がありました。人のつながり、おしゃべりの楽しみも生まれていました。＜安部きみ子＞

●地域貢献したいとご理解ある施設が場所を開放した集いの場や、買い物への交通手段が少ない地域の移動販売取材しました。これらの創意工夫された諸活動が、高齢者を含めた地域住民がいきいきと生活できる環境づくりへと繋がる地域福祉活動の原点(支え)だと感じました。＜佐川 三男＞

●広報紙レイアウトをリニューアルいたしました。ご意見等お聞かせください。＜事務局＞

広報委員会

渡邊 敦子(白根)／相澤 明子(川井)／吉田 澄子(上白根)
長谷川 貴子(希望が丘中)／安部 きみ子(希望が丘東)
佐川 三男(万騎が原)／尾野 憲司(二俣川ニュータウン)
中川 士郎(白根)

旭区社協だより No. 98

あさひ 「この町が好き」と言えるまちづくり

いきいき宣言

http://www.palietasahi.jp/

平成30年7月15日発行



この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています。

旭区社協

特集

とても身近な

集いの場



現在、国では「地域共生社会」の実現に向けて「我が事・丸ごと」の地域づくりを進めています。それを受けて、横浜市では主に高齢者が住み慣れた場所で、心身の健康を保ちながら生活をしていただけた地域づくりを進める「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。その推進役として各地域ケアプラザに配置されているのが、生活支援コーディネーターです。生活支援コーディネーターは地域の中で生活する上での不便をできる限り解消するための「生活支援」の取り組みを進めています。



また、交流や参加の場としての「集いの場」作りも進めています。「集いの場」と言ってもその形は様々です。一緒にお茶を飲んだり、話をしたりする集いの場もあれば、何かの目的に集まった人が自然に話をする集いの場。集まる場所も多種多様です。今回の広報では、様々な「集いの場」をご紹介します。



詳しくは中面へ



目的を持って集ったり、あくまで自然体だったり、集うタイプがそれぞれ違う3つの“集いの場”をご紹介します



白根地区●今川焼屋で立ち上がった集いの場

集って 笑って いつも元気

毎月 第3金曜日
だいたい10:00～だいたい12:00



ちょっとのつもりがついつい長居しちゃいます
お茶とお水はセルフサービスです(もちろん無料)

新しいことを始めるとなると負担感から二の足を踏むこともありがちですが、“既にある場所とご近所の知り合い同士のつながりを活かしたこのような集まりなら気軽に始められるし、続けられるのでは。こんな場所があちこちでできるといいな”と思える場でした。

白根6丁目の今川焼屋「嵐庵」の協力のもと、お店の休憩スペースでちょっとした集いの場を始めると聞きお邪魔しました。

開始にあたってはチラシ等の作成はあえて行わず、近くを通りかかった人たちに声をかけ参加をお誘いしようと、始めました。白根通りの生協に買い物に行く人や、買い物帰りの人などがお店の前を通ると、「ちょっとお茶でも飲んでいきませんか〜」と、既にお店に集まりおしゃべりをしていた近隣の方が声をかけます。「久しぶり!」「元気にしてた?」など立ち話になることもあれば、「せっかくだからちょっと寄っていこう」とおしゃべりの輪に加わる方もいらっしゃいました。



川井地区●移動スーパー

移動販売から集いの場へ

川井地区で新しい集いの場ができました。きっかけは移動販売でした。地域の高齢者が買い物に困っている人が多くいるという課題があり、川井地域ケアプラザと地域の方々と検討したところ、「スーパーに行けないならスーパーに来てもらう」と考えました。実際に移動販売が開始するとたくさんの方が買い物に訪れ、買い物に来た人同士が何気ない会話がはじまり、いつの間にか自然と『集いの場』になっていきました。

地域の方も買い物もできて、ご近所さんとお話もできるということで毎週楽しみにしているということでした。普段あまり外に出なかった方も、外出意欲が湧いてきたと話しており、こんな形でも集いの場になるとは考えになかったと近所の方から好評です。

今後は移動販売車が来たときにイスとテーブルを仮設的に置き、本格的に集いの場として考えているとのこと。



重い荷物は自治会の方が一緒にご自宅までお持ちします

希望が丘中地区●中希望が丘のみんなの集いの場(仮)

自治会館でもケアプラザでもない 新たな集いの場

毎月第2・第4火曜日 14:00～16:00
参加費200円 めぐみ幼稚園 地下集会所

地域の皆さんから「みんなで集まっておしゃべりできる場所がほしい。」「運動教室はあるけど、運動は苦手で・・・」「自治会館で行っている活動は自治会が違うと行きづらい」「プラザまでは遠い」等の声が多く出ていました。そこで、誰もが集え、お茶のみと簡単な運動が同時にできる場として、めぐみ幼稚園のご理解ご協力のもと「みんなの集いの場(仮)」を平成30年2月より開設しました。

善部西地区のカフェ絆で活躍されているコーヒーボランティアがいてくれる美味しいコーヒーを楽しむ方、リーダーが分かり易く楽しく教えてくれるスクエアステップという脳トレを楽しむ方、皆さんそれぞれにこのサロンを楽しまれています。



最後のイベント!? ふらふらしても大丈夫!



音楽(おとがくる)による演奏で楽しく歌います

最後にはその場にいる全員が手を繋ぎ1つの輪になって、片足立ちを行います。みんなで大きな声でカウントして、フラフラしても手を繋いでお互い支えあっていることで、みんなが一つになり何とも言えない爽快感です。

幼稚園設立以降、地域の方々にお世話になってきました。集会所を使ってもらうことで恩返しができたらと思っています。(めぐみ幼稚園 田名綱園長)



目印は赤いトラック。近くに来ると音楽が流れ、販売開始を知らせます

毎週金曜日に川井地区内5か所を周回。それぞれの場所で約15～30分停車しているので、買い物の場が、いつしか交流の場になっているようです

川井地区
移動スーパー
の販売が5か所になります!

平成30年4月～毎週金曜日

グループホーム ついでに 14:00～ 14:15	福泉寺下 町内広場 14:20～ 14:35	川井 町内会館横 14:40～ 14:55
川井町住宅 11:00～ 11:30	川井宿 (川井宿園地) 15:00～ 15:30	

空腹では、ありません。
お買い物を進めて
地域の方と交流を持っていただく事が
大きな目的の1つです!

生活支援コーディネーターは、このような区内のサロン活動を開催する団体の皆さまのサポートをするために、「サロン連絡会」を組織しています。研修会や情報交換会を行う等、活動を進めるにあたってお役に立つように取り組んでいます。

